

中古艇ディーラー訪問

浜寺ボート (大阪府堺市)

関西を襲った大型台風にも適切に対応。
今後も保管マリーナとしての対策に万全を期す

強風だけでなく高潮被害も 猛威を振った台風21号

2018年9月4日に上陸した台風21号は、記録的な高潮と暴風が関西各地の沿岸部を襲い、甚大な被害を受けたマリーナもあった。大阪湾では大阪南港でコンテナが流されたり、神戸市付近では浸水被害も数多くあった。

「台風が通過した時間は14時頃だったと思います。ピーク時の様子を一言で言うならば『地獄絵図』です。まさに自然の力を前にただ身をかがめ、スマホで記録することしかできませんでした」と語るのは大阪府堺市の浜寺ボート、マーケティング統括責任者の田中龍介氏。そんな強烈な台風を受けても、同社が運営するマリーナには大きな被害が出ることはなく、台風翌日の午後に

はスタッフが通常の作業に戻れたようだ。「お預かりしていたヨットの係留ロープが一部で切れたり、ヨット同士の接触による被害や、飛来物による破損などはありません。ほかに、棧橋のクリートやピットがあり得ない形に変形してしまうなど、強風による施設への被害もありました。ただ、棧橋全体が強風に耐えてくれたので、ヨットが漂流したり沈没したり、というような大きな被害はゼロでした」

今回の台風で、一番驚いたのは強風よりも高潮だったようだ。

「浜寺ボートがここで商売を始めてから50年。父(同社の田中龍雄専務)は今回ほど潮位が上がったことはなかったと言っていました。弊社では棧橋へ提供する電源ボックスを岸壁に取り付けているのですが、それら

がすべて水没してしまいました。もちろん台風による高潮は今まで何度も経験してきていますから、電源ボックスがもともと低い位置に取り付けられていたわけではありません。今まででは考えられない高さまで海面が上がったということですね」

提供された写真を見ると、人が歩いているステージは完全に水没し、もしそこに立っているのであれば顔の高さほどまで海面が上がっていたことになる。

「高潮のために、マリーナとは別の場所で陸揚げしていた予備の棧橋3台が浮き上がり、海へ投げ出されました。こちらも通常の高潮なら絶対に流されない高さです。台風が通過して少し落ち着いてから、投げ出された棧橋をボートで探しに出かけました。日が暮れていてもおかしくない時間帯でしたし、海面はまだ風も波もある中で見つけるのは難しいだろうと考えていましたが、思ったよりも近くで見つかったので本当に助かりました」

早い段階での情報発信と 保管艇オーナーの協力

同氏は台風通過の翌日に、同社のマリーナが比較的小さな被害で済んだ理由



台風での高潮の時(左)と、通常時(右)の比較。浮き棧橋へ向かうための右側の通路が、完全に水没してしまっているのがわかる

が6つあったとFacebook上で分析していた。内容を抜粋すると「運が良かったこと」、「地理的なマリーナのロケーションが良かったこと」、「保管艇オーナーの協力」、「これまで培ってきた経験」、「台風対策に要する時間の確保」、「2015年に行ったマリーナの大規模修繕」というものであった。「もちろん、運もマリーナのロケーションも良かったと思います。ただ、なによりもオーナーさんたちの協力が一番だと思っています。今まで台風が来るからと、弊社からオーナーさんに一斉メールをするようなことは一度もありませんでした。しかし台風の予想進路や勢力の経過を見ていると『今回はかなりマズいぞ』という、いやな予感がしていたんです」

同社では通常2日前から台風対策を始めているそうだが、今回は4日前の8月31日から台風対策を始めていた。ただ、それでも間に合わないと感じ、オーナーへの協力をお願いした。

「棧橋にかかる負荷は、係留しているヨットが受ける風圧も加わるので、ヨット自体が受ける風圧をできる限り減らしたいわけです。メインセールやジブ、ドジャー、ビミニトップなど、風を受ける対象物すべてが棧橋にとっての負担になります。もし1本でも棧橋の連結ピンがはずれたら、ドミノ倒しのように風下側の棧橋と船が流されてしまう。それが一番怖かったんです」

同社に係留しているオーナーには9月1日の時点で注意喚起のメールやLINEが送られ、Facebookでも周知もされた。同社の対応にオーナーたちもただごとではないと感じたようで、ほとんどのオーナーが週末に台風対策をしにマリーナに来てくれたそうだ。「オーナーさんたちのおかげで、僕たちはマリーナや作業工場全体の対策に集中できました。それはオーナーさんたちが危機感を持って、自分たちのヨットを自分たちで守ってくれたからです。結局は台風が来るギリギリまで対策をしていましたが、なんとか間に合わせる事ができました。やれるだけやっという感覚はあったので、あとはなるようにしかならないという気持ちで台風を迎えました」

棧橋の交換とメンテナンス 普段の取り組みこそが重要

また、棧橋のメンテナンスを実施していたのも台風を乗り切れた大きな要因だと同氏は言う。

2016年の本誌でも書いているとおり、同社では2014年から2015年にかけてすべての棧橋の大規模メンテナンスを行っていた。

「弊社ではすべての棧橋を内製化しており、定期的なメンテナンスも自分たちで行ってききました。しかし製造からおよそ25年が経過していたこともあり、このあたりできちんとメンテナンスしようということになりました」

100本近くある棧橋はすべて上架して補修と補強を施し、棧橋を固定する亜鉛メッキ加工されたアンカーチェーンもすべて新調したそうだ。

「あの台風の時に古いままのチェーンと補強していなかった棧橋だったら、チェーンはあっけなく切れて、棧橋のフロートははずれ、間違いなくマリーナは壊滅していたと思います。あの規模メンテナンスは、時間的にも費用的にも本当に大変だったんですが、その意義はあったんだと今では確信しています。僕も今回のような台風は今後めったに来ない、と思いたいですがそれはダメ。これから毎年今回のような台風が来る、と思うのもダメ。今回以上の台風が必ず来るんだ、という意識で私たちはこれからも台風対策とマリーナづくりを考えないといけないと思っています。そして私たちだけでなく、オーナーさんたちもそういう意識で、台風対策やマリーナ選びをしてほしいですね」

今回の台風を少ない被害で乗り切ることができたが、万全の対策を目指していくスタンスは今後も変わらない。



こちらに台風時の動画がアップされている
浜寺ボートのFacebookページ

浜寺ボート / 浜寺産業株式会社

〒592-8333 大阪府堺市西区浜寺石津町西5丁10-7
TEL: 072-262-3222 FAX: 072-262-6527 <http://www.hamaderaboat.co.jp/>
Facebook: <http://www.facebook.com/hamaderaboat>

浜寺ボートの特選中古艇

委託艇



足立 ACTIVE83 サロン
1,000万円

2012年進水、ヤンマー3YM30(セルドライブ)、ジブファラー、オートバ
イロット、GPS、風向風速計、インバーター、軽油ヒーター、陸電、ボートカバー

オススメのポイント

足立ヨットで作られた最後の木造ヨットです。2014年進水と非常に高年式で
アな一艇です。

委託艇



ヤマハ SC-38
450万円

1989年進水、ボルボTAMD71(300HP)×2、パワーステア、GPS、発電機8kW、
マリンエアコン、陸電、デッキシャワー、ウインドシールド、オーニング、安全器具一式

オススメのポイント

38代の本格派サロンクルーザー。重厚かつ
こだわりの抜かれたキャビンと、船酔い
を感じないほど綺麗な状態を保たれている
のは、一見の価値あり。

Buy
Sell
Transport
Mooring
Restore
Tug
Sailing
Scrap



HAMADERA BOAT office@hamaderaboat.co.jp
072-262-3222